

Pudu Robotics、PUDU CC1 シリーズ向けセルフクリーニングドッキングステーションを発表 完全ハンズフリー清掃を再定義

Pudu Robotics（本社：中国深セン、日本法人 Pudu Robotics Japan 株式会社 代表取締役社長：張 涛、以下、PUDU）は本日、PUDU CC1 シリーズエコシステムの最新製品であるセルフクリーニングドッキングステーションを発表しました。この新しいドッキングステーションは、PUDU CC1 シリーズに自動化されたドック支援型清掃サイクルを実現し、重要な清掃部品を最適な状態に保ちながら、日常的なメンテナンス作業を大幅に削減します。



セルフクリーニングドッキングステーションは、PUDU の清掃ソリューションのラインナップを拡充します。これには、自動給水・排水・充電を行う標準ドッキングステーションや、配管不要な施設向けのモバイルウォーターステーションが含まれます。これらの革新により、施設運営者は一貫した無人清掃を実現するための包括的なツールセットを手に入れることができます。

セルフクリーニングドッキングステーションの主な特長

- **スクイージー深部清掃技術**

内蔵の 100W 超音波モジュールと 55℃以上の温水システムにより、ステーションは CC1 のスクイージーを徹底的に清掃し、汚れや残留物を取り除いて汚れの跡や二次汚染を防ぎます。

- **ブラシ自動清掃**

各清掃作業の後、CC1 は自動ローラーブラシ清掃のためにドッキングします。システムは 95%以上のゴミを取り除き、絡まりを防ぎ、ブラシの寿命を延ばすのに役立ちます。

- **スマート汚れ検出と自動清掃**

CC1 Pro の汚れ検出機能と組み合わせることで、システムは閉ループのワークフローを形成します：検出→ドッキ

ング→自動清掃→運転再開。これにより、汚染の拡散を防ぎ、高品質の清掃を維持します。

- **メンテナンス効率 35 倍向上**

スクイージーとローラーブラシの日常清掃を自動化することで、日々のメンテナンスを 1 日数分から週 1 回の簡単な給水タンク洗浄だけに削減します。

- **1 台で 3 つの構成に対応**

モジュール式クイックスワップ設計により、標準ドッキングステーション、セルフクリーニングドッキングステーション、Pro バージョンの 3 構成が可能。この柔軟性で小規模店舗から大規模施設まで幅広く対応します。

- **メンテナンス容易なモジュラー設計**

ローラーブラシクリーナー、スクイージー、水タンクはすべてワンタッチで着脱可能。1 人で工具不要の迅速なメンテナンスが実現します。

これらの特長に加え、ステーションは元のドッキングステーションの自動給水・排水・洗剤投入・充電などの基本機能をすべて継承し、配管のない施設向けのモバイルウォーターステーションとも完全互換です。

自律清掃の新たな基準

「セルフクリーニングドッキングステーションは、企業が一貫した清掃品質を維持することをこれまで以上に容易にします」と Pudu Robotics 創業者兼 CEO の Felix Zhang は述べています。「ロボット自身によるメンテナンスを可能にすることで、真のハンズフリー・無人運用を実現し、運用効率を革新し、完全自律清掃の新たな基準をお客様に提供します。」

PUDU について

Pudu Robotics は、サービスロボティクス分野のグローバルリーダーとして、革新的なロボット技術を通じて人々の生産性と生活水準の向上に取り組んでいます。Pudu Robotics は、サービスロボットの研究開発、製造、販売に注力し、「移動」「操作」「人工知能」の三つのコア技術を重視しています。業界において、Pudu Robotics は専門型、セミヒューマノイド型、ヒューマノイド型のロボット製品を幅広く展開し、リードしています。現在、Pudu Robotics は、サービスデリバリーロボット、商業用清掃ロボット、産業用デリバリーロボットの三つの製品ラインを提供しており、飲食、小売、ホスピタリティ、医療、エンターテインメント・スポーツ、産業施設、教育など、10 の主要産業で導入されています。これまでに Pudu Robotics は、世界 80 以上の国と地域、1,000 以上の都市で、累計 10 万台以上のロボットを出荷しています。事業の最新情報やアップデートについては、PUDU の [LinkedIn](#), [Facebook](#), [YouTube](#), [Twitter](#) および [Instagram](#) をフォローしてください。